

平成 28 年度 不祥事ゼロプログラム検証結果

1 目標及び行動計画と実施状況

(1) 法令遵守意識の向上

目標 教育公務員としての自覚を持ち、信用失墜行為を起こさない。	
行動計画	実施状況
i 不祥事に係る新聞記事等の掲示や職員間のコミュニケーション等を通して、不祥事防止に関する知識を深める。	○朝の職員打合せや事故防止会議等を通じて、日常的に問題意識を喚起した結果、公務外非行を防ぐことができた。
ii 「神奈川県職員行動指針」の内容を繰り返し周知する。	○事故防止啓発資料等を配付し、信頼される学校づくりに取り組むよう注意喚起を行った。

(2) わいせつ・セクハラ行為の防止

目標 人権意識を高め、わいせつ・セクハラ行為を防止する。	
行動計画	実施状況
i 職員全員参加の事故防止会議において、実際の事例や行政課作成の職員啓発資料等を活用して、研修する機会を設ける。	○事故防止会議において、チェックシートを活用し、職員全員がセルフチェックを行うことでセクハラ等の未然防止について意識啓発を行った。
ii 携帯電話の使用において、職員個人のアドレスからの発信やメール及び SNS 等の不適切な使用をしないよう、具体的な事例を示して職員に周知を図る。	○携帯電話等への個人情報の登録については登録申請を行うよう徹底させ、個人情報の流出防止に努めた。

(3) 体罰・不適切な指導の防止

目標 生徒の人権を保証し、生徒への体罰や不適切指導を防止する。	
行動計画	実施状況
i 職員全員参加の事故防止会議等において、体罰防止のガイドラインや啓発資料を配付して、体罰・不適切指導の発生を未然に防ぐ。	○事故防止会議において、チェックシートを活用し、職員全員がセルフチェックを行うことで体罰等の未然防止について意識啓発を行った。
ii 生徒向け相談窓口等、校内で生徒が相談しやすくなる雰囲気醸成する。	○定期的な教育相談会議を実施し、幅広く情報を共有し、生徒が抱える課題の早期発見に努めた。

(4) 成績処理及び進路関係書類の作成・取扱いに係る事故防止

目標 厳正確実な成績処理を行うとともに、調査書・推薦書等の発行には慎重を期す。	
行動計画	実施状況
i 成績処理マニュアルに基づいた確実な業務を徹底するとともに、点検シートを活用して、点検の精度を上げる。	○朝の打合せにおいて、定期試験に係る不正行為の防止、答案の管理について注意喚起を行った。また、成績処理については、マニュアルに基づいた業務の遂行を徹底した。
ii 調査書・推薦書の作成及び取扱いについては、学年・グループ及び管理職による、組織的な点検体制により事故を防ぐ。	○常に管理職より点検ルートについて声かけを行い、未然の事故防止に努めた。

(5) 個人情報の管理、情報セキュリティ対策

目標 個人情報の取扱いには細心の注意を払い、流出や紛失を防ぐ。	
行動計画	実施状況
i 個人情報の校外持ち出しは極力控え、持ち出す際には許可願の申請と、直帰を徹底する。	○個人情報の管理と適切な廃棄を行った。また、管理職から職員へ机上の整理について、声掛けを行った。

(6) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

目標 交通法規の遵守や交通マナーの向上を図り、無事故・無違反を目指す。	
行動計画	実施状況
i 私的利用も含めて、常に安全運転することを職員に呼びかける。 ii 年末年始・学期末等の酒席に臨む際は深酒を控えるとともに、当日は勿論のこと翌日の運転も控えるよう呼びかける。	○職員の綱紀の保持に基づいた具体的な事例を提示し、全体で再確認することで、職員の交通事故・交通法規の遵守に対する自覚を喚起することができた。

(7) 業務遂行体制の確保等

目標 職員間における必要な報告・連絡・相談を迅速かつ適切に行い、事故を未然に防ぐ。	
行動計画	実施状況
i 職員間での情報の共有化を図り、風通しの良い職場づくりを進める。 ii 衛生委員会を定例開催し、執務環境の向上を通して職員の勤務実態改善を目指す。	○定期的な衛生委員会において、職場環境の具体的な改善を積極的に検討し、日ごろから互いの見守りができる風通しの良い職場づくりを行った。

(8) 会計事務等の適正執行

目標 公費及び私費の会計事務をルールに沿って厳正に行う。	
行動計画	実施状況
i 全職員参加の事故防止会議において、私費会計に係るマニュアルを配付し、意識の啓発と私費会計基準の周知徹底を図る。 ii 計画的な予算立てと適正な執行が行えるよう、常に執行状況を確認しながら時宜に合った速やかな執行を行う。	○私費会計マニュアルについてポイントを明確にしながら再確認を行い、職員全体に対して適正の徹底を図った。 ○担当グループより、定期的な執行状況を全体に情報発信することで、適正な執行を行なうよう周知徹底した。

(9) 入学者選抜に係る事故防止

目標 入学者選抜実施要項に基づいて、適正に業務を進める。	
行動計画	実施状況
i 文書・データ等の事務処理及び管理は、常に複数の職員で行う。 ii 学力検査・面接を遺漏なく遂行するため、全職員での要項の読み合わせのほか、面接研修を複数回実施して、面接の精度を高める。	○あらゆる業務において常に点検ルートを職員全体で確認し、複数でのチェックを行った。 ○入選マニュアルの管理について徹底を図るとともに、面接・採点に関する校内研修会において細部にわたる再確認を行い、職員全員に事故防止に対する注意喚起を徹底した。

2 検証・自己評価

(1) 中間検証結果

- ア 7月に調査書発行、9月にセクハラ防止、10月に個人情報の管理についての校内研修会を実施し、年間を見通した意識啓発を行い、一定の成果を上げることができた。

3 最終検証結果

(1) 今年度の成果について

- ア ほぼ毎月事故・不祥事防止の研修会を実施し、学校全体で不祥事防止に取り組む体制ができた。また、毎回チェックシートを活用したことで、自己の振り返りを行うことができ、継続的な意識啓発の点において、大きな成果があった。
- イ 事故・不祥事防止の取り組みにゴールはなく、今後も、様々な形態で効果的なプログラムを検討し、学校一丸となって事故・不祥事防止に努めていきたい。

(2) 今後の課題について

- ア 校内研修会をさらに充実させ、職員の事故防止意識やコンプライアンス体制強化をすすめる。
- イ 学校評議員や保護者等の意見を、職員の不祥事防止に反映するための手段を検討する。